

# A News Letter of Woody-Akiba

## 住まいのニューズレター Woody-Akiba



画 むげんてつや 先生

ごあいさつ

暑中お見舞い申し上げます。お元気ですか？本当にお元気ですか？何度も尋ねないと気がすまない程の猛暑となっています。私はといえば暑さになんの抵抗もせず、昼も夜もクーラーなしで汗だくの毎日を過ごしています。現場で作業している職人に比べれば、なんのその！

今回は勝手に夏休みの観光案内をします。日本のピラミッド伝説に思いを巡らしてしばし暑さを忘れましょう。青森との県境、秋田県鹿角市大湯にある黒又(くろまんた)山は、稜線がピラミッドのように、きれいな四角錐になっている三角形の山です。頂上には神社がたち、その真下には巨大な岩があり、また頂上のすぐ下のところには空洞があることが確認されています。そう、これが日本のピラミッドではないかといわれる山のひとつです。階段式ピラミッドだといわれ近くにある有名な大湯環状列石(ストーンサークル)との関連を指摘されています。「日本のピラミッド」の規定は、1-三角形の山である。2-頂上、または、頂上付近に巨石が並んだ遺構がある、だそうです。ピラミッドではないかといわれる山が全国で19か所あります。黒又山の発光現象が日本テレビ「特命リサーチ200X」で放送されたことがありましたね。エジプトやメキシコ、世界中にピラミッドはあるのだから決して日本にあっても不思議ではありません。古代伝説というのは胡散臭い気もしますが、なんとも刺激的で興味が湧きます。(エッ、私だけでしょうか…)

そして極めつけは青森県三戸郡新郷村にある「キリストの墓」です。

“ゴルゴダの丘で十字架に掛けられたのは弟のイスキリであり、難を逃れたイエスは北欧、アフリカ、中央アジア、中国、シベリアとまわって、アラスカから北米に渡り南米を一周してから再びアラスカを通過して日本の八戸へ上陸した。そして日本でその生涯を終えた。遺書も残っている。末裔である沢口家の人々は、赤ら顔で鼻が高くユダヤ人の顔をしている。沢口家の家紋はイスラエル国旗と同じダビデの星である。ヘブライ学の川守田英二博士は戸来村に伝わる謎の歌「ナニヤドヤラ」をヘブライ語の歌であると鑑定している。そもそも戸来村(新郷村の旧名)という名前はヘブライがなまったものである。”というものです。

新郷村には、「キリストの里伝承館」もありチャックリ観光スポットにしています。お暇でしたら新郷村のHP、<http://www02.so-net.ne.jp/~shingou/>など覗いてみてください。そのビッグパニック的発想にはぶっ飛んでしまいそうです。でも、このくらい暑いと頭がクラクラしてその伝説を信じてしまいそうになりますね…。もっとも、新郷村には何の責任もないことなんですが…。青森県に行きましたら立ち寄ってみてはいかがでしょうか。ちなみに東北では新郷村の大石神、岩手県釜石市の五葉山もピラミッドではないかといわれています。私もいつか行ってみたいと思っています。特にクロマンタは…

さて、ご存知のこととは思いますが「徒然草」で吉田兼好は「家を建てるのは夏を旨とすべし。」と書いています。その通りで少しでも夏に過ごしやすい家に変えていきたいものです。

どうか、快適な夏をお過ごしください。あなた様のご健康を心よりお祈り申し上げます。



## トム・ソーヤ島の建て方



今月に建て方があったお宅の写真です。周囲は丘に囲まれていて、地は緑に包まれています。山林を切り開いたような環境で3方とも小高い丘が連なっています。敷地の外に出ればすぐ住宅団地がありますから、つくづく恵まれた立地だと思います。建て主様は私の恩師の方でたいへんお世話になった方なんです。

上の写真は西側の丘より撮影した全景です。敷地の広さを感じていただけたらと思います。



軸組みの写真です。真ん中に300角の大黒柱、240角の恵比寿柱が立っています。その存在感はもう圧巻。お陰で周囲の柱や桁が小さく見えてしまいます。



柱のホゾはこんなに長いので入れるのも大変ですが反対に大地震がやってきても簡単には抜けないはず。これは金物に頼る以前に大切なことです。

## 真夏に読むいい話「コトバのチカラ」より

今年二十七歳になる私の息子が十歳のときですから、もう十七年になります。しかし、いまははっきりとよみがえってきます。あのときのひと言が。十七年前の十一月二十七日、その日は木枯らしの吹く寒い一日でした。午後六時すぎ、あたりはすっかり暗くなり、誰もが家路を急いでいました。そのとき当時小学校5年生の息子が国道を自転車で横断中、車にはねられたのです。自転車とともに10メートル宙を舞って道路に叩きつけられ、虫の息の息子は救急車で病院に運ばれました。夕食の準備をしていた妻と私は、救急車の音を聞きながら、まさか、わが子がそれに乗っているとは思いませんでした。近所の人のお知らせを受け、病院に駆けつけたとき、あわただしく機材が手術室に運ばれていました。

息子は全身打撲、左大腿骨骨折、脳挫傷、肋骨八本骨折・なかでも折れた肋骨が肺にささり、呼吸が困難な状態にあり、今夜が峠であることを知らされました。

夜、遅く、手術室の前の廊下にいる私たちのところに、加害者の大学生が父親とともに駆けつけてきました。何もすることがなく無言のまま、ただ時間が止まっているような気がしました。朝方、手術が終わり、息子は一命を取りとめました。集中治療室から一般病棟に移されたのは三日目でした。目と鼻と口以外を白い包帯で巻かれた息子は、全身の痛みで苦しんでいました。ベッドの息子は母親の手を離そうともしませんでした。おそらく事故の恐怖を感じているのだと思いました。

そんなとき加害者の大学生が病室にはいって来ました。彼は苦しんでいる息子のそばに恐る恐る近づき、震える声で「ごめんね」といいました。そのとき、息子は苦しい息の下で「僕のほうこそ」といったのです。だれもが思いもかけない言葉でした。「痛い、痛い」と大声で叫ばれても仕方ないのに、道路に飛び出した自分のほうも悪かったと謝ったのです。

その言葉を聞いた大学生は声をあげて泣きました。「あのときほど嬉しかったことはありません」後になって彼がいきました。

いま、息子はそのときのことを何も覚えていないといいますが、しかし、確かにあのひと言で、私も家族も加害者を見る目が変わったのは事実です。

三ヶ月後、息子は松葉杖をつきながら、学校に通うようになりました。その後も息子と大学生の交流が続きました。あのときの、あのひと言によってみんなの心が救われました。

以来、私は自分のことよりも相手を気遣う言葉を先にいうように心がけています。(松田正一さん)

## お譲りしてます

弊社の建物は木材をふんだんに使って建てられます。木材の切り落としや合板などの端材がたくさん発生してしまいます。作業場や現場からその端材をもっていただく方もいらっしやう助かっています。燃料としてまた工作の材料としてお使いいただける方は是非お持ちください。資源を再利用したいと思います。夏休みの工作にも使えるものがありますよ。

発行者 ご連絡先 秋葉建設㈱ 秋葉 忠夫

〒289-2163八日市場市南神崎52-1

電話0479-72-0814 FAX0479-72-0824

携帯080-5545-0814(留守電でもOKです。)

★★携帯番号が変わりました。変更をお願いします★★

Eメール master@woody-akiba.com

HP URL http://woody-akiba.com/

★★ドメインを取得しました。上記がそれです★★

次号も「読んであげてもいいよ」と思った方、是非ご連絡をお待ちしています。ご住所・お名前・Eメールアドレスを教えてください。ご連絡をお待ちしていますよ。

(財)住宅産業研修財団・優良工務店の会QBC会員。財団では職人の技能を伝えるため、「大工塾」を創設しました。